



新年明けましておめでとうございます。



2016年もM&Aを見つめてまいります

新年明けましておめでとうございます。本年もM&A Onlineをよろしくお願い致します。

2015年、世界はM&Aに沸きました。報道によれば、アメリカはこれまでの最高であった07年を上回って史上最大級、日本も初めて金額ベースで10兆円を超えて過去最高を記録しました。ドメスティック案件ばかりでなく、海外の企業を買収する大型案件も目立ちました。

潮流の根底にあるのは、国内市場のシュリンクと海外の新たな市場への進出ですが、ともあれ、企業活動が盛んである証しには違いありません。

ただ、眉をひそめて見る専門家もいます。過去の経験から、M&Aが活況になると玉石混交の様相を呈し、“質の悪いディール”が多くなるということです。M&Aの評価は1、2年ではできません。5年、10年と時間が経ち、時の審判を受けて初めて真価が分かるものです。後に「16年はハズレ年だった」と言われないようにしたいものです。

さて、今年はどんな驚きに満ちたディールが待っているのか……。M&A Onlineは、経済を刺激し、化学反応のきっかけをつくり出すM&Aを見つめ、今年も皆さまに情報を送り続けてまいります。

M&A Online編集部